

ほっかいどうの社会保障

2010年4月18日②

北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

小林多喜二を輩出し、労働運動・農民運動の道内発祥の地である小樽市に 待望の小樽社会保障推進協議会が誕生！

設立総会は、4月17日（土）に道新小樽支局ホールで約80人が集まって行われました。

総会には、中央社保協・北海道社保協・札幌社保協・札幌北区社保協・苫小牧社保協からメッセージが寄せられ、来賓として、小樽市中村福祉部長と花岡日本共産党道議会議員が挨拶しました。

全体で運動方針案を確認

佐藤勤準備会事務局長は、最初に社保協設立に至った経過を報告しました。

5年以上前から設立の動きがありましたが、その時には設立に至りませんでした。しかし、この間の社会保障費削減が医療の荒廃を進め、自治体が市民の生存権や医療を受けることを否定する行政が行われる中、社保協設立が待たれていました。昨年12月には、勤医協・樽労連・新婦人・守る会・日本共産党が発起人団体になり準備を進め、社保協参加を呼びかけて今日に至りました。

経過報告の後、運動方針案と規約案が提案され確認しました。運動方針は、社会保障充実を目指す運動として、後期高齢者医療制度の即時廃止を求める運動、障害者自立支援法の即時廃止と障害者の生存権が保障される制度の確立など10の課題を掲げ、小樽市に対する運動も確認しました。



総会で役員を選出

総会は、提案された役員体制を全会一致で確認・選出しました。

役員を代表して中井会長が社保協の歴史や役割、北海道社保協の再建に至った経過、社保協の今日的な役割を述べ、小樽社保協への結集を呼びかけました。

会 長	中井秀紀（勤医協小樽診療所所長）	敬称略
副 会 長	菊地葉子（新婦人小樽支部長） 青柳かおる（小樽労働組合総連合議長）	
事務局長	佐藤 勤（小樽生健会会長）	
事務局次長	中野晃秀（勤医協小樽診療所事務長）	以下略



中井秀紀小樽社保協会長

総会第2部は「社会保障の今日的課題」と題した記念講演

吉岡道社保協事務局長を講師に記念講演が行われました。

北海道民医連が作成したDVDを鑑賞した後、講演で、DVDを補足する形で社会保障の現状を話し、民主党政権下での社会保障の行方とたたかいについて講演。特に、政権交代で要求実現の可能性は広がったものの、民主党の社会保障に対する考えの根本には自民党政治と同根の新自由主義・構造改革基づく「無駄の排除」「医療費抑制」の考え方があると強調。参議院選挙に向けて運動の強化を訴えました。